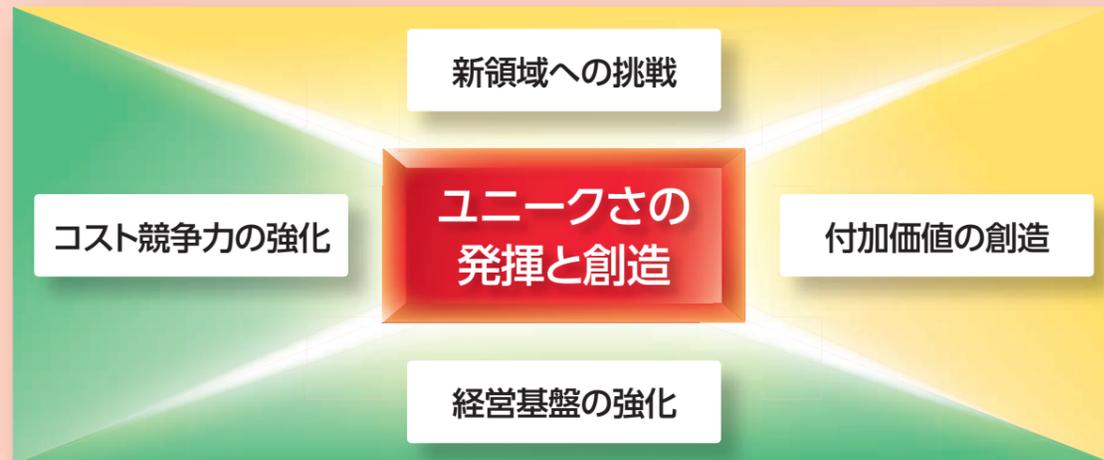


# 2016-2018年度 中期経営計画の概要

## グループ経営方針

グループの新たな挑戦で、飛躍的成長を実現する



「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、コスト競争力の強化、付加価値の創造、新領域への挑戦）を定め、グループの新たな挑戦で飛躍的成長をめざします。

## 2016-2018年度 中期経営計画のコンセプト

<b>全体</b>	グループ協働を加速し、グループの力を最大限に発揮する
<b>国内</b>	調味料事業の磐石化を進め、他事業の利益創出力を高める
<b>海外</b>	中国・東南アジアの成長を加速しつつ、新規エリアへの布石を打つ
<b>投資</b>	国内調味料事業と海外展開に重点を置く

<b>[主な取り組み]</b>	<b>付加価値の創造</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ニーズをとらえた価値の創出</li> <li>● 販路の活用と開拓</li> <li>● 基幹商品の提案を強化</li> </ul>	<b>コスト競争力の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産・販売・物流での効率化</li> <li>● ものづくりの技術革新</li> <li>● 原材料の調達力強化</li> </ul>
<b>[主な取り組み]</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エリアのニーズをとらえた提案</li> <li>● 戦略商品で輸出の展開エリアを強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たなカテゴリーを拡大</li> </ul>

## 主な経営指標

(単位:億円)

	2015年度(補正後)	2016年度	2017年度	前年度比	2018年度(計画)
売上高	5,498	5,523	5,617	101.7%	5,800
国内	5,121	5,145	5,190	100.9%	5,291
海外	377	378	427	112.9%	509
営業利益	264	298	313	104.8%	330
国内	223	265	290	109.3%	293
海外	40	33	23	69.0%	37
営業利益率(%)	4.8	5.4	5.6	—	5.7
経常利益	272	314	325	103.7%	341
親会社株主に帰属する当期純利益	170	171	181	105.9%	186
ROE(自己資本純利益率)(%)	8.3	8.0	8.2	—	8.2
ROA(総資産経常利益率)(%)	7.5	8.3	8.1	—	8.1
EBITDA(営業利益+減価償却費)	454	481	481	100.0%	515

※2015年度は、売上高の計上基準変更による影響を補正した数値を使用しています。  
 ※2018年度計画は、2018年1月11日に公表した数値です。  
 ※海外の数値は、10月から9月が対象。日本からの輸出を含みます(日本からの輸出は12月から11月が対象)。

## 会計方針の変更について(2016年度から)

- 売上高の計上基準変更  
2016年度から、「販売促進費や物流費の一部」の計上方法を変更しています。  
【変更前】支払確定時に「販売費」に計上→【変更後】売上計上時に「売上高」から控除
- 有形固定資産の減価償却方法などの変更  
2016年度から、有形固定資産の減価償却方法を変更しています。  
【変更前】定率法→【変更後】定額法(耐用年数や残存価額の評価も見直しています。)

## 設備投資と株主還元



# 事業の状況

	概要	主な商品
<b>調味料事業</b>	主にマヨネーズとドレッシングにより構成されており、中核となる事業です。家庭用から業務用まで、幅広くお客様のニーズをとらえた商品開発やメニュー提案を国内や海外で行い、グループの成長を牽引しています。	<p>マヨネーズ ドレッシング マスタード 中国で製造・販売しているマヨネーズ</p>
<b>タマゴ事業</b>	国内で生産される鶏卵の約10% (約25万トン) を液卵などに加工し、自社のマヨネーズのほか、パン・菓子などの様々な食品の原料として食品メーカーへ販売しています。また、凍結卵や調理済みのタマゴ加工品として、ホテルやレストランをはじめとする外食産業などへ販売しています。	<p>調理用全卵 ツインパック (ヨーク&amp;ホワイト) とろとたまご シリーズ つぶしておいしい たまごのサラダ</p> <p>タマゴ素材品 タマゴ加工品</p>
<b>サラダ・惣菜事業</b>	中食市場の伸張に伴い需要が拡大しているカット野菜や惣菜(主にサラダ)、米飯(弁当・おにぎり)の製造・販売を行っています。カット野菜や惣菜は主に全国のスーパーマーケット向けに販売しており、宅配ルートや外食産業・電子商取引(EC)市場への販売も行っています。米飯は主にコンビニエンスストア向けに販売しており、スーパーマーケットへの販売も行っています。	<p>ポテトサラダ 20品目のサラダ スーパーマーケットなどで販売しているサラダ(惣菜) パッケージサラダ (家庭用カット野菜)</p>
<b>加工食品事業</b>	ジャムやパスタソースをはじめ、育児食(ベビーフード)や介護食(やわらか食)などのヘルスケア商品を、家庭用から業務用まで展開しており、赤ちゃんからお年寄りまで、それぞれの世代の食に貢献しています。	<p>ジャム パスタソース 育児食 (ベビーフード) 介護食 (やわらか食)</p>
<b>ファインケミカル事業</b>	ヒアルロン酸、卵成分(卵黄レシチンなど)、医薬用EPA(イコサペント酸エチル)を、食品・化粧品・医薬品の原料として加工メーカーへ販売しています。ヒアルロン酸は国内で唯一、鶏冠抽出法と微生物発酵法の2つの製法で生産し、独自技術でお客様のニーズに応えています。	<p>ヒアルロン酸配合 サプリメント (機能性表示食品) ヒアルロン酸配合 スキンケア商品</p>
<b>物流システム事業</b>	食品物流専門の株式会社キューソー流通システム(2004年東証一部上場)を中心に、食品の特性に合わせた常温・定温・冷蔵・冷凍の4温度帯で、品質や鮮度を守り抜く物流システムを整え、食品の安全・安心を支える高品位な物流サービスを提供しています。	

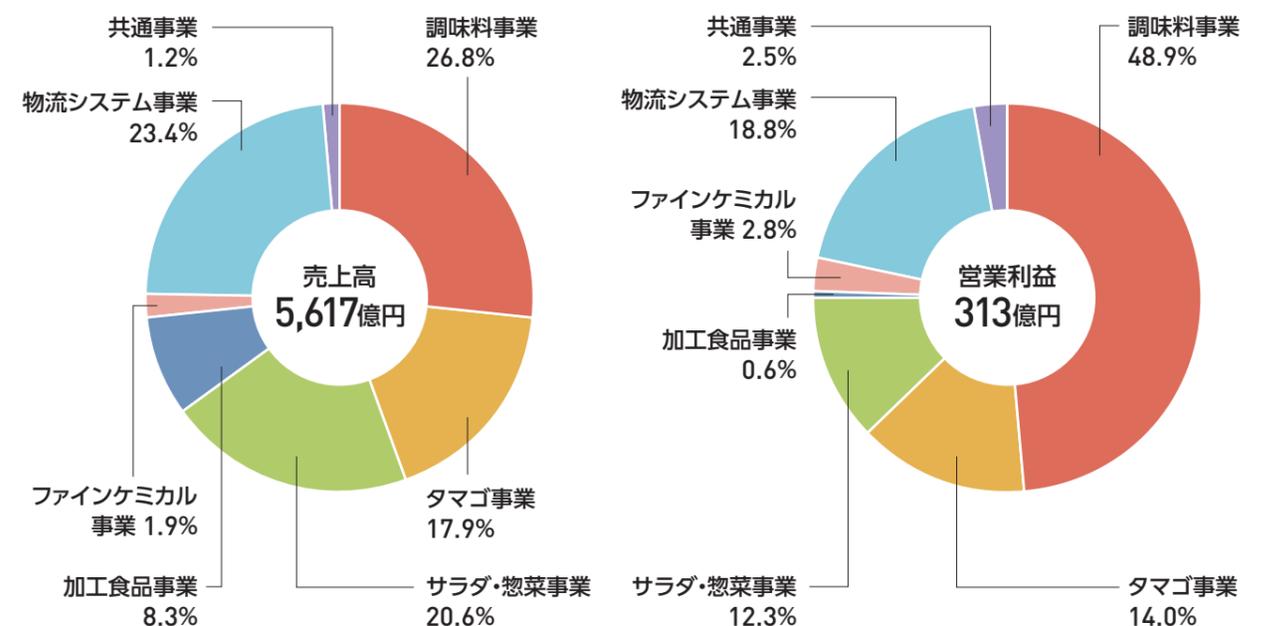
(単位:億円)

売上高	2015年度(補正後)	2016年度	2017年度	前年度比	2018年度(計画)
調味料事業	1,422	1,441	1,504	104.4%	1,610
タマゴ事業	1,046	1,022	1,005	98.3%	1,020
サラダ・惣菜事業	1,004	1,118	1,155	103.3%	1,205
加工食品事業	575	513	466	90.9%	475
ファインケミカル事業	113	109	106	97.5%	110
物流システム事業	1,277	1,269	1,312	103.4%	1,340
共通事業	59	52	68	132.7%	40
合計	5,498	5,523	5,617	101.7%	5,800

(単位:億円)

営業利益	2015年度(補正後)	2016年度	2017年度	前年度比	2018年度(計画)
調味料事業	125	137	153	111.9%	153
タマゴ事業	54	55	44	79.7%	52
サラダ・惣菜事業	28	35	38	111.0%	46
加工食品事業	△3	5	2	38.5%	4
ファインケミカル事業	4	10	9	83.8%	9
物流システム事業	48	49	59	120.5%	60
共通事業	9	8	8	103.8%	6
合計	264	298	313	104.8%	330

2017年度 事業別構成比



※共通事業は、グループ全体に関する業務を行っている会社から構成され、グループ各社の経理や労務、障害者雇用の推進などを行っています。  
 ※各事業を構成する会社については、P42をご参照ください。